

2027年度

編 入 学
入 学 者 選 抜 要 項

- 学部・学科の「入学者受入れの方針」は、本学公式サイトならびに「入試ガイド」に掲載していますので、出願時に必ず確認してください。
- この「入学者選抜要項」には、出願から入学手続きまでのすべての事項が記載してありますので、よく読んで手続きに間違いのないよう十分に注意してください。
- 本冊子の記載内容に変更が生じた場合や自然災害等の特別措置が生じた場合は、本学入試情報サイトで随時お知らせします。



大阪学院大学

■ 目次

入学者受入れの方針	1
概要	
入試日程一覧	1
注意事項	1
個人情報の取り扱い	2
募集人員	3
出願資格	3
編入学年次・単位認定	
編入学年次・単位認定	3
教職課程を受講する場合	4
選抜内容・選抜方法	
選抜内容	4
選抜方法	4
出願	
出願から合格発表までの流れ	5
出願書類	6
マイページの登録	6
インターネット出願登録	7
登録内容に誤りがある場合の対応	8
入学検定料の支払い	8
出願書類の郵送	9
「志願票」「宛名ラベル」が印刷できない場合	9
受験票	9
試験日程	9
合格発表	9
入学手続	
入学手続	10
その他	
在留カードの更新	11
入学辞退	11
入学金・学費および諸会費	12
問い合わせ先	13
小論文の内容・キーワード	14
前期日程	14
後期日程	17
よくある質問	20
試験会場案内	21
* 志望理由書	
* 2027年度 単位認定申請書	
* 2027年度 教職課程受講事前単位認定確認書	

入学者受入れの方針

建学の精神

本学は、教育と学術の研究を通じ、広く一般社会に貢献し、
且つ人類の福祉と平和に寄与する視野の広い実践的な人材の育成を目的とする。

大阪学院大学は、建学の精神に基づき、社会に貢献できる人材の育成に取り組んでいます。
各学部・学科が掲げる教育目的達成のための「入学者受入れの方針」は、本学公式サイトならびに「入試ガイド」に掲載していますので、出願時に必ず確認してください。



なお、各学部が定める教育目標、卒業認定・学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針は本学公式サイトに掲載しています。志望学部の内容を十分に理解のうえ、出願してください。

■ 入試日程一覧

日程の内容については、各項目で詳しく説明しています。

内 容	前 期 日 程	後 期 日 程
出願期間	11月16日(月) ～ 11月25日(水)	1月29日(金) ～ 2月9日(火)
受験票公開期間	12月2日(水) ～ 12月5日(土)	2月16日(火) ～ 2月20日(土)
試験日	12月5日(土)	2月20日(土)
合格発表期間	12月8日(火) ～ 12月10日(木)	2月26日(金) ～ 3月1日(月)
入学手続1次締切日	12月18日(金)	3月10日(水)
入学手続2次締切日	1月12日(火)	

■ 注意事項

出願時

1. 出願の内容などを確認するために電話、またはメールで連絡を行う場合があります。志願者の電話番号およびメールアドレスは、本学からの連絡を受けることが可能なものを登録してください(発信元:06-6381-8434)。
2. 志願者が連絡に回答しない等のために出願の内容などを確認できなかった場合には、出願を受け付けません。
3. 提出された出願書類は返還しません。
4. 場合により健康診断書の提出を求めることがあります。
5. 出願後の学部・学科などの変更は認めません。
6. 入学検定料の納入の確認および出願書類の受理後、出願資格の確認を行います。確認の結果、出願資格が認められない場合は受験できません。
7. 合格発表後に虚偽等が発覚した場合は、合格および入学の資格を取消します。
8. 出願書類の作成において生成AI(ChatGPTなど)を用いてはいけません。

障がい等のある方の受験

受験上の配慮や入学後の学修にもかかわりますので、出願に先立ち余裕を持って、必ず入試広報課に相談してください。また、出願後の不慮の事故による負傷者や疾病者で受験時に特別な配慮等を希望される場合は、速やかに入試広報課に相談してください。ただし、ご希望に添えない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

受験時の注意

〔試験室着席まで〕

1. 試験当日は、受験票を持参してください。
2. 受験票を紛失または忘れた場合は、速やかに試験会場入口の担当者、もしくは監督者まで申し出てください。
3. 受験上の諸注意を行いますので、試験開始時刻の30分前（集合時刻）までに入室してください。
4. 自動車・オートバイ・自転車での来場は禁止しています。公共の交通機関をご利用ください。
5. **試験開始後30分以上遅刻した場合は受験できません。**
6. 試験会場では「受験番号」に従って着席してください。
7. 受験票は机上番号の手前に「受験番号」が見えるように置いてください。
8. 交通機関の遅延等により試験時間の繰り下げを行う場合は、「マイページ」でお知らせします（*「マイページ」については6ページを参照）。

〔試験室着席から〕

1. 机上には受験票、筆記用具、時計以外は置かないでください。
辞書・電卓・スマートウォッチ・スマートグラス等のウェアラブル端末や、それらの機能の有無が判別しづらいもの、キッチンタイマー、大型のものなどは時計として使用できません。
2. 携帯電話等の電子機器類は電源を切り、保管方法については監督者の指示に従ってください。
3. 試験開始後の途中退出は認めません。体調不良等の場合は監督者に申し出てください。
4. 試験中に、日常的な生活騒音（緊急自動車のサイレン、空調機器などの運転音、雷や風の音など）が発生した場合でも、特別な救済措置はとりません。
5. 試験会場ではすべて監督者の指示に従ってください。

〔不正行為〕

次のいずれかに該当する場合は不正行為とみなします。試験の中止を命じ当該年度のすべての試験を無効とし、今後の受験も認めません。また入学検定料の返還も行いません。

1. 出願書類や出願条件に虚偽があった場合。
2. 志願者以外の者が本人になりすまして受験をした場合。
3. 監督者の指示に従わなかった場合。
4. 試験中、許可を得ていない用具を机上に置くなど使用した場合。
5. 試験中、スマートフォン、スマートウォッチ、スマートグラス等のウェアラブル端末を身に付けていた場合。
6. 試験中、他の受験者の迷惑となるような行為をした場合。
7. その他、試験の公平性を損なうような行為をした場合。

〔その他〕

昼食が必要な場合は持参してください（学内食堂は営業していません）。

感染症（新型コロナウイルスやインフルエンザ等）の対応

出願後、学校保健安全法で出席停止が定められている感染症（新型コロナウイルスやインフルエンザ等）に罹患し、治癒していない者や、他者への感染の恐れがある者は、必ず試験開始時刻までに入試広報課まで電話連絡のうえ、受験をご遠慮ください。他の日程への振替などの対応を行います。無連絡または試験開始後の連絡の場合は、欠席扱いとなり、入学検定料の返還または振替は行いません。



■ 個人情報の取り扱い

1. 利用目的
出願および入学手続きにあたってご登録いただいた個人情報は、入学試験、合格発表、入学手続きとこれらに付随する業務で利用します。
2. 取り扱い方針
(1) ご登録いただいた個人情報は厳重に取り扱います。また、上記「1. 利用目的」以外には一切利用しません。
(2) ご登録いただいた個人情報の取り扱いを外部に委託する場合があります。その場合、個人情報を適切に取り扱っていると認められる委託先を選定し、厳重な管理を実施させます。

■ 募集人員

学 部	学 科	募 集 人 員
商学部	商学科	若 干 名 (前期日程・後期日程とも)
経営学部	経営学科	
	ホスピタリティ経営学科	
経済学部	経済学科	
法学部	法学科	
外国語学部	英語学科	
国際学部	国際学科	
情報学部	情報学科	

■ 出願資格

次の各項のいずれかに該当する者。

1. 日本の大学を卒業した者および2027年3月卒業見込みの者。
2. 日本の短期大学、高等専門学校を卒業した者および2027年3月卒業見込みの者。
3. 本学以外の日本の大学に2年以上在学し、62単位以上修得した者および2027年3月をもって修得見込みの者。
4. 専修学校の専門課程（修業年限が2年以上であること。その他文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る）を修了した者および2027年3月修了見込みの者。

■ 編入学年次・単位認定

他の大学または短期大学において修得した単位（科目等履修による単位修得を含む）および文部科学大臣が定める、大学以外の教育施設において既に修得した単位が、本学においてどの分野に該当するかを確認のうえ、編入学後に本学の単位として認定します。

1. 編入学年次は、全学部とも**3年次**です。
2. 共通科目・専攻科目および演習科目を最大で62単位認定します。
3. 単位認定のため、次の必要書類を出願書類と併せて提出してください（詳しくは「出願書類」6ページを参照）。
 - (1) すでに卒業（修了）している場合
 - ・2027年度 編入学単位認定審査申請書
 - ・卒業証明書
 - ・成績証明書（単位数が明記されているもの）
 - ・シラバス（講義要項）
 - (2) 卒業（修了）見込みの場合
 - ・2027年度 編入学単位認定審査申請書
 - ・卒業見込証明書
 - ・履修中の科目を含む成績証明書（単位数が明記されているもの）
 - ・シラバス（講義要項）
 - (3) 大学に2年以上在学している場合
 - ・2027年度 編入学単位認定審査申請書
 - ・在学証明書（年次が明記されているもの）
 - ・履修中の科目を含む成績証明書（単位数が明記されているもの）
 - ・シラバス（講義要項）

＊ シラバス（コピー可）は**在籍中に履修し合格（履修中を含む）したすべての授業科目を提出してください。**
 ＊ 合格（履修中を含む）した科目のシラバスが提出されていない科目は、単位認定の審査を行いません。
4. 修得した授業科目の内容に応じて単位認定を行うため、3年次編入学が許可されても、本学の卒業要件を満たすためには**在学年数を延長**しなければならない場合があります。

5. 次の学部・学科のコースは、編入学年次（3年次）から**選択ができません**。

学 部 ・ 学 科	選択できないコース
経営学部 経営学科	グローバル管理者育成コース
経済学部 経済学科	グローバル・エコノミーコース スポーツ経済コース

■ 教職課程を受講する場合

本学において、教職課程の受講を希望する場合は、出願前に「単位認定事前確認」を受ける必要があります。「教職課程受講事前単位認定確認書」と、次の必要書類を単位認定事前確認期間内（期間最終日の消印有効）に郵送してください。ただし、教職免許状取得の条件に「学士の学位を有すること」とありますので、卒業を優先してください。なお、単位修得状況・時間割編成によっては、卒業時に教員免許状が取得できない場合があります。この場合、教職課程の不足科目分は、卒業後に科目等履修生（別途手続き、費用が必要）として履修することが可能です。

＊ 「教職課程受講事前単位認定確認書」の用紙は、入試情報サイト「入学者選抜要項・出願書類のダウンロード」からダウンロードできます。

(1) すでに卒業（修了）している場合

- ・卒業証明書
- ・成績証明書（単位数が明記されているもの）
- ・シラバス（講義要項）
- ・学力に関する証明書

(2) 卒業（修了）見込みの場合

- ・卒業見込証明書
- ・履修中の科目を含む成績証明書（単位数が明記されているもの）
- ・シラバス（講義要項）
- ・学力に関する証明書

(3) 大学に2年以上在学している場合

- ・在学証明書（年次が明記されているもの）
- ・履修中の科目を含む成績証明書（単位数が明記されているもの）
- ・シラバス（講義要項）
- ・学力に関する証明書

＊ シラバス（コピー可）は**在籍中に履修し合格（履修中を含む）したすべての授業科目を提出してください**。

＊ 合格（履修中を含む）した科目のシラバスが提出されていない科目は、単位認定の審査を行いません。

日 程	単 位 認 定 事 前 確 認 期 間（消印有効）
前期日程	10月 9日（金）～ 10月 26日（月）
後期日程	12月 16日（水）～ 1月 8日（金）

■ 選抜内容

- 小論文の内容については「小論文の内容・キーワード」（前期日程：14～16ページ、後期日程：17～19ページ）を参照してください。
- 面接は、教員2名による個人面接を実施し、出願書類に基づき、小論文の内容ならびに志望理由、本学での学修目標、将来の目標などを10分程度で審査します。

選 抜 内 容	試 験 時 間
小 論 文	10時00分 ～ 11時00分
面 接	11時30分 ～

■ 選抜方法

小論文・面接・志望理由書・出願書類に基づき、「基礎的知識・能力・意欲・適性等」を多面的・総合的に評価して判定します。

■ 出願から合格発表までの流れ

1 出願書類の準備 入試制度の内容を確認 〔準備する書類・印刷する書類〕 ● 志望理由書 ● 卒業証明書等 ● 成績証明書 ● シラバス（講義要項） ● 単位認定申請書  「出願登録」前に準備が必要	2 マイページに登録 大阪学院大学 入試情報サイトの「マイページ」に志願者の住所、氏名、メールアドレス、写真を登録  出願期間の前から登録が可能	3 インターネット出願登録 出願期間に志望学部・学科を登録  出願期間のみ登録が可能
4 出願書類の印刷 志願票、宛名ラベルを印刷 〔印刷する書類〕 ● 志願票 ● 宛名ラベル  「マイページ」から印刷	5 入学検定料の支払い 出願登録完了の画面にある検定料支払いサイトで入学検定料の支払方法を確認して支払い  コンビニ、ATM、クレジットカード等で出願書類の郵送前に支払い	6 出願書類の郵送 出願に必要な書類を郵便局の窓口から簡易書留・速達で郵送  出願最終日の消印有効
7 受験票 公開期間内に「マイページ」から受験票を印刷 〔印刷する書類〕 ● 受験票  「マイページ」から印刷	8 受験 入学者選抜要項・受験票で試験内容、時間、試験会場、志望学部・学科などを確認、受験票を持参して受験  試験内容、時間、試験会場 志望学部・学科などを確認	9 合格発表 公開期間内に合格速報を入試情報サイトで参照（可否通知を併せて郵送します） 合格者は1次と2次の手続きを確認 単位認定に必要な書類を確認  合格発表日から3日間 入試情報サイトで参照

* 出願の内容などを確認するために電話、またはメールで連絡を行う場合があります。志願者の電話番号およびメールアドレスは、本学からの連絡を受けることが可能なものを登録してください（発信元：06-6381-8434）。

■ 出願書類

1. 出願書類に不備がある場合、出願を受理することはできません。
2. 下記の表の項目の右に「事前準備」の表示がある書類は、作成に時間がかかる場合もあるため、インターネット出願登録の前に準備してください。
3. 「志願票」はインターネット出願で登録した後、「マイページ」から印刷できます。
4. 書類の印刷は、A4用紙（白色、たて、カラー・白黒どちらも可、縮小なし）で行ってください。
5. 出願書類の郵送に必要な「宛名ラベル」を「マイページ」から印刷してください。

志 願 票	➤ 出願登録した後、「マイページ」から印刷し、提出してください。	マイページ
志 望 理 由 書	➤ 大阪学院大学の志望学部・学科を選んだ理由と入学後の目標を1000字以内で表現し提出してください。	事前準備
卒業証明書等	➤ 卒業（修了）している者は、「卒業証明書」を提出してください。 ➤ 卒業（修了）見込みの者は、「卒業見込証明書」を提出してください。 ➤ 大学の2年以上に在学している者は、「在学証明書」（年次が明記されているもの）を提出してください。 ➤ 教職課程の受講にかかる単位認定事前確認時に提出済みの場合は提出不要です。	
成績証明書	➤ 単位数が明記されているものを提出してください。 ➤ 大学の2年以上に在学している者は、単位数が明記されているもの、現在の履修状況がわかるものを提出してください。 ➤ 教職課程の受講にかかる単位認定事前確認時に提出済みの場合は提出不要です。	
シラバス（講義要項）	➤ 在籍中に履修し合格（履修中を含む）したすべての授業科目を提出してください。 ※ホッチキス止めせず提出してください。 ➤ 教職課程の受講にかかる単位認定事前確認時に提出済みの場合は提出不要です。	
単位認定申請書	➤ 「単位認定申請書」に必要事項を記入のうえ、提出してください。	

- * 「卒業証明書等」「成績証明書」「シラバス（講義要項）」「単位認定申請書」は、入学後の単位認定に使用します。
- * 卒業（修了）見込みの者、および大学に2年以上在学している者は、編入学試験に合格した後、**成績が確定次第**、最終の「成績証明書」（教職課程を受講する者は「学力に関する証明書」）を再度提出してください。
- * 「志望理由書」「単位認定申請書」の用紙は、入試情報サイト「入学者選抜要項・出願書類のダウンロード」からダウンロードできます。

■ マイページの登録

出願登録の前にインターネット出願サイトの「マイページ」に氏名などの個人情報を登録してください。

「マイページ」は**出願期間の前**から登録が可能です（登録開始は9月1日を予定）。

1. 登録前の確認

以下の3点を確認してください。

- (1) インターネットに接続可能なパソコン、タブレットなどの環境
- (2) 出願者本人のメールアドレス
 - * 出願内容の問い合わせを行う場合があります。
 - * 迷惑メール設定をしている場合は、送信元「@52school.com」から受信できるように設定してください。
- (3) A4サイズの印刷ができるプリンター環境
 - * 自宅にない場合は、ネットプリントの利用、もしくは所属する学校に相談してください。

2. 「マイページ」の初回登録

本学公式サイトの**入試情報サイト**から登録してください。

- (1) 「インターネット出願登録」を選択します。
- (2) 画面にある「マイページ」を選択、「マイページを初めてご登録の方」から登録のためのメールアドレスを入力、仮登録してください。
- (3) 仮登録で入力したメールアドレスに、本登録のメールが届きます。
- (4) 本登録のメールの案内に従い「マイページ」の登録を行ってください。

3. 「マイページ」に基本情報の登録

(1) 「マイページ」にログイン、出願者本人の氏名や住所など「基本情報」を登録してください。

- * システムの都合で入力が出来ない漢字は、簡単な漢字、略字等に置き換えてください。
- * 「出身学校等」は「その他の学校」入力し、「課程」は「高校以外」、「学科」は「その他の学校」を選択してください。
- * 出身学校の名称は、提出書類に基づき入試広報課が修正します。

(2) 基本情報に登録した内容は、出願時に使用する「個人情報」となります。

- * 基本情報に登録した内容の変更は可能ですが、出願登録を完了した後は出願情報には反映されません。
- * 出願登録の後に変更が必要となった場合は、「登録内容に誤りがある場合の対応」(8ページ)を参照してください。

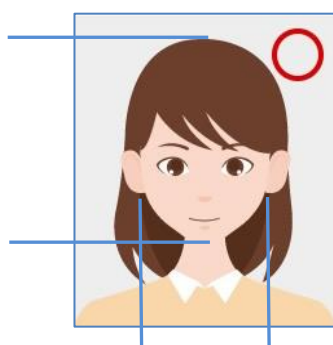
4. 「マイページ」に写真を登録

証明写真機(写真データのダウンロードや取得ができるもの)、スマートフォンやタブレット端末のカメラ機能、デジタルカメラ等で撮影した「写真」を準備の上、登録を行ってください。

写 真 デ ー タ の 条 件	使用できないもの
> 出願前3カ月以内に撮影 > カラー写真、上半身・正面、無帽、背景なし(白/青/グレーを基調とした無地)・枠なし > 写真サイズは、100KB以上、5MB以下 > 写真データ形式は「JPG/PNG」のいずれか	> 白黒写真 > スナップ写真 > 髪が目にかかっている > 個人が特定し難い > 不鮮明

* 入学後、学生証用として卒業まで使用します。

【適切な写真の例】



- 頭部の大きさが適切(上図線内)
- 前髪、横髪で目と眉を隠さない
- 眉、目元、顔の輪郭が鮮明

【不適切な写真の例】



その他

- ✕ 証明写真を撮影したもの
- ✕ 自撮り写真など画像が反転したもの
- ✕ アプリ等で顔等を加工したもの
- ✕ 画質が粗いもの

■ インターネット出願登録

1. 入試情報サイト「インターネット出願登録」から「マイページ」にログイン、「出願登録」を選択した後、「入試制度の選択」で **編入学(一般)** を選択してください。

2. 「志望学部・学科」で志望する学部・学科を選択してください。

3. 出願登録の終了後に「マイページ」の「出願確認」から「志願票」と「宛名ラベル」を印刷してください。

* 「志願票」「宛名ラベル」が印刷できない場合は、『「志願票」「宛名ラベル」が印刷できない場合』(9ページ)を参照してください。

日 程	出 願 期 間
前期日程	11月16日(月) 9時00分 ~ 11月25日(水) 20時00分
後期日程	1月29日(金) 9時00分 ~ 2月9日(火) 20時00分

* 24時間アクセス可能ですが、初日のみ9時00分から、最終日は20時00分までです。

* 入学検定料の支払いが可能な時間は、「入学検定料の支払い」(8ページ)を参照してください。

■ 登録内容に誤りがある場合の対応

入学検定料の支払い状況により対応が異なります。

1. 入学検定料支払い前

- (1) 入試制度、志望学部・学科の登録を誤った場合、新規登録で正しい内容の「出願登録」を行ってください。
* 誤って登録した内容は、入学検定料の支払い期限を過ぎると無効となるため、キャンセル処理等は不要です。
- (2) 基本情報（氏名、生年月日、出身校名、住所など）は、「出願登録」の前に「マイページ」の「基本情報」を訂正してください。
- (3) 訂正後の「志願票」を郵送してください。訂正前の「志願票」を郵送した場合は、入試広報課までご連絡ください。

2. 入学検定料支払い後

- (1) 入試制度、志望学部・学科の登録を誤った場合、変更や訂正は行えませんが、入試広報課までご連絡ください。
- (2) 基本情報（氏名、生年月日、出身校名、住所など）を訂正する場合、印刷した「志願票」の訂正箇所に二重線を引き（訂正印は不要）、赤のボールペンで余白に訂正の内容を記入のうえ、郵送してください。
* 「マイページ」の「基本情報」は訂正できますが、「出願登録」に反映されません。

■ 入学検定料の支払い

入学検定料は、インターネット出願登録後、画面の指示に従い、支払いサイトのURLからコンビニエンスストア、ペイジー（「Pay-easy」のマークのある金融機関のATM）、クレジットカード、ネットバンキングのいずれかの方法を選択のうえ、支払ってください。

入学検定料	30,000円
-------	---------

1. 入学検定料をコンビニエンスストア、ペイジーで振り込む場合は、**出願登録した日の翌日の23時59分（最終日は、出願登録した当日の23時59分）までに**振り込んでください。この期間を過ぎると出願登録が無効となります。その場合は、出願期間内であれば、出願登録からやり直してください。
* コンビニエンスストアもしくはペイジーを選択した場合、使用する機関で必要な「**払込番号**」等の番号が必要になりますので、メモ等してください。
* 使用するコンビニエンスストアにより、必要な「払込番号」等の名称と内容が異なります。
2. クレジットカード、ネットバンキングでの振り込みは、出願登録と同時に決済となります。
* カード番号などの「登録」ボタンは一度だけクリックしてください。二度以上クリックすると、重複して請求される場合があります。
3. 入学検定料の支払い後に出願登録の内容を変更することはできません。
4. 入学検定料のほかに別途サービス利用料がかかり、利用者の負担となります。
5. 支払いの際に受け取られた領収書等は、提出の必要はありませんが、試験終了まで保管してください（本学から領収書の発行は行いません）。

入学検定料返還

出願が受理されている場合、試験を欠席した場合でも入学検定料は返還しません。

ただし、次の場合に限り、入学検定料を返還します。

1. 入学検定料を払い込み、出願書類を郵送したが、内容等の不備により、出願が受理されなかった場合。
2. 感染症（新型コロナウイルスやインフルエンザ等）に罹患、もしくは罹患した疑いがあり、受験できず、かつ振り替え対応でも受験できなかった場合（無連絡または試験開始後の連絡の場合は、欠席扱いとなり、入学検定料の返還は行いません）。

■ 出願書類の郵送

市販の角形2号（A4）サイズの封筒の表に必要事項を記入した「宛名ラベル」を貼り付け、出願書類を折り曲げずに封入し、郵便局の窓口から簡易書留・速達（出願最終日の消印有効）で郵送してください。

本学が出願書類を受領し、内容を確認したうえで不備等がなければ、出願受付が完了します。

■ 「志願票」「宛名ラベル」が印刷できない場合

1. A4用紙に次の項目を記入してください。

「入試制度」「志望学部・学科」「整理番号」「氏名」「住所」「電話番号」「生年月日」

2. 市販の角形2号（A4）サイズの封筒の表に次の住所と「出願書類 在中」を記入し、封筒の裏には志願者の住所と氏名を記入してください。

送付先：〒564-8511 大阪府吹田市岸部南二丁目36番1号 大阪学院大学 入試広報課 行

3. 2. の封筒に1. の記入した紙と「出願書類」を入れ、出願期間内に郵便局の窓口から簡易書留・速達で郵送してください。

■ 受験票

受験票は、次の期間に「マイページ」の「オンライン受験票」でダウンロードできます。

1. 試験日ごとに1枚印刷してください。

2. 不正行為の防止のため、一切の書き込みを禁止します（裏面含む）。

3. 受験票の内容（入試制度、試験日、試験会場、志望学部・学科など）を確認のうえ、試験日に持参してください。

4. 受験票に記載された内容以外での受験はできません。

5. 受験票には合格速報を参照するためのパスワードが記載されていますので、試験後も大切に保管してください。

日 程	受 験 票 公 開 期 間
前期日程	12月 2日（水）10時00分 ～ 12月 5日（土）10時00分
後期日程	2月 16日（火）10時00分 ～ 2月 20日（土）10時00分

* 24時間アクセス可能ですが、初日は10時00分から、最終日は10時00分までです。

■ 試験日程

試験会場および集合時刻等（試験会場案内は21ページを参照）

日 程	試 験 日	試験会場	入場開始時刻	集合時刻	試験開始時刻
前期日程	12月 5日（土）	大阪学院大学	8時45分	9時30分	10時00分
後期日程	2月 20日（土）				

■ 合格発表

合格発表日から3日間（日曜のぞく）、合格速報として入試情報サイト「合格速報」で合格者の受験番号を発表します。合格速報を参照するには受験票に記載のパスワードを入力してください（本学公式サイトから入試情報サイトにアクセスしてください）。

併せて、合格発表日の初日に合否の通知を速達で発送する予定です（合格者には入学手続き類を同封）。

日 程	合 格 発 表 期 間
前期日程	12月 8日（火）10時00分 ～ 12月 10日（木）15時00分
後期日程	2月 26日（金）10時00分 ～ 3月 1日（月）15時00分

* 24時間アクセス可能ですが、初日は10時00分から、最終日は15時00分までです。

* 合否通知は合格発表期間の初日に発送するため、地域によって到着日が異なります。

* 学内掲示による発表は行いません。また、電話などによる合否の照会には一切応じません。

■ 入学手続

合格者は次の入学手続締切日までに入学金・学費および諸会費を納付し、入学手続書類を提出してください（詳しい案内は合格通知に同封します）。

日 程	1 次 締 切 日 入学金	2 次 締 切 日 学費および諸会費 入学手続書類
前期日程	12月18日（金）	1月12日（火）
後期日程	3月10日（水）	

1. 1次締切

期日までに入学金（200,000円）を合格通知に同封されている納付書を使用し、銀行の窓口から納付してください。

2. 2次締切

（1）期日までに学費および諸会費を合格通知に同封されている納付書を使用し、次のいずれかの方法で銀行の窓口から納付してください。

- ① 初年度年額を一括して納付する方法。
- ② 初年度春学期分を納付する方法（秋学期分は2027年10月に納付してください）。

（2）期日までに入学手続書類（詳しい案内は合格通知に同封）を郵送してください（消印有効）。

3. 後期日程については、締切日までに入学金・学費および諸会費を納付し、入学手続書類を提出してください（詳しい案内は合格通知に同封します）。

4. 入学手続上の注意事項

（1）入学手続書類のうち次の書類は、入手でき次第、**早急**に合格通知に同封の封筒で郵送してください。

区 分	提 出 が 必 要 な 書 類
既に卒業（修了）している者	➤ 出願書類として提出された「卒業証明書」を流用するため、提出は必要ありません。
卒業（修了）見込みの者	➤ 卒業式後に出身学校から「卒業証明書」の発行を受け、提出してください。
大学に2年以上在学している者	➤ 出身学校から「退学証明書」もしくは、「在籍期間証明書」の発行を受け、提出してください。

（2）締切日までに手続きを完了しない場合は、入学を許可しません。

（3）1次締切日までに入学金を納付した後、2次締切日までに学費および諸会費を納付しなかった、もしくは入学手続書類を提出しなかった場合、入学を許可しません。この場合、入学金は返還しません。

（4）合格者で入学手続きが完了している場合でも、卒業予定であった教育機関を2027年3月31日までに卒業とならなかった者もしくは所定単位の修得ができなかった者は、入学許可を取り消します。

（5）入学金を除く、学費および諸会費の納付期日に猶予期間を設けることができますので、2次締切日までに入試広報課までご連絡ください。

■ **在留カードの更新**（在留カードを所有している入学予定者）

在留カードの有効期限が4月末までとなっている場合は、在留期限の延長申請に必要な「入学許可書・在留期間更新申請書（所属機関等作成）」を発行しますので、各自で在留期限の延長申請を行ってください。

＊ 有効期限が5月以降の者は、入学後に学生課で書類の発行申請を行ってください。

1. 書類の発行には、入学金（1次）と学費ならびに諸会費（2次）を納入し、必要書類（卒業証明書を除く）を提出している必要があります。

2. 書類の発行が必要な場合は、2次の締切日以降「入学許可書発行願」を入試広報課に提出してください。

＊ 「入学許可書発行願」は、入試情報サイト「入学手続書類・合格後の住所変更・在留カードの更新」からダウンロードできます。

＊ 更新後の在留カードのコピー（両面）を新入学オリエンテーションの際に学生課に提出してください。

なお、3月末までに更新を行った者は、両面のコピーを入試広報課まで郵送してください。

■ **入学辞退**

入学手続を完了した後に、やむを得ず入学辞退をする場合は、**2027年3月31日（水）17時まで**に本学所定の「入学辞退届」を入試広報課に来学もしくは電話で請求（メールでの請求は受け付けません）のうえ、提出してください（**期日必着**）。期日までに「入学辞退届」を提出した場合に限り、入学金を除く学費および諸会費を返還します。

■ 入学金・学費および諸会費

1. 全学部・学科共通事項

- (1) 2027年度生の入学金・学費および諸会費を示しています。
- (2) 1年間の学費・諸会費は、春学期・秋学期に分けて納付することができます。
- (3) 受講する科目によっては、別途実習費等が必要となる場合があります。

2. 大学

(1) 商学部、経営学部、経済学部、法学部、外国語学部、国際学部 (円)

	学年	編入学年度 (3年次)		4年次		計
種別	学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	
入学金		200,000	-	-	-	200,000
学費	授業料	464,000	464,000	464,000	464,000	1,856,000
	施設設備費	100,000	100,000	100,000	100,000	400,000
諸会費	学友会入会金等 *	3,430	-	-	-	3,430
	学友会費	2,000	2,000	2,000	2,000	8,000
	後援会入会金	5,000	-	-	-	5,000
	後援会費	4,000	4,000	4,000	4,000	16,000
	卒業記念品費	-	-	19,500	-	19,500
	校友会費	-	-	20,000	20,000	40,000
合 計		778,430	570,000	609,500	590,000	2,547,930
年間合計		1,348,430		1,199,500		

* 学友会入会金1,000円と保険料2,430円(2年間分)の合計。

(2) 情報学部(単位制授業料制度)

【単位制授業料制度について】

- ① 授業料が固定費と単位制分(1単位8,000円)に分かれています。
- ② 表中 の「単位制分(1単位8,000円)」の授業料は、履修登録後(入学後)に徴収します。
- ③ 履修登録単位数に応じて各自納入金が異なります。
- ④ 卒業に必要な単位は4年間で124単位です。3・4年次の履修登録可能な単位数はそれぞれ48単位です。

〔3・4年次で48単位ずつ履修登録した場合の学費の一例〕 (円)

	学年		編入学年度 (3年次)		4 年次		計
種別	学期		春学期	秋学期	春学期	秋学期	
入学金			200,000	-	-	-	200,000
学費	授業料	固定費	355,000	355,000	355,000	355,000	1,420,000
		単位制	192,000	192,000	192,000	192,000	768,000
		〈単位数〉	〈24 単位〉	〈24 単位〉	〈24 単位〉	〈24 単位〉	〈96 単位〉
	施設設備費		100,000	100,000	100,000	100,000	400,000
実験実習費			25,000	25,000	25,000	25,000	100,000
諸会費	学友会入会金等 *		3,430	-	-	-	3,430
	学友会費		2,000	2,000	2,000	2,000	8,000
	後援会入会金		5,000	-	-	-	5,000
	後援会費		4,000	4,000	4,000	4,000	16,000
	卒業記念品費		-	-	19,500	-	19,500
	校友会費		-	-	20,000	20,000	40,000
合 計			886,430	678,000	717,500	698,000	2,979,930
年間合計			1,564,430		1,415,500		

* 学友会入会金1,000円と保険料2,430円(2年間分)の合計。

■ 問い合わせ先

1. 入試に関するお問い合わせ

大阪学院大学 入試広報課

TEL：06-6381-8434（代表） E-mail：adoffice@ogu.ac.jp（入試担当）

月曜日～土曜日（祝日を除く）：9時00分～17時00分

- * ご意見・お問い合わせ内容等の正確な把握等のために、通話を録音させていただきます。
- * インターネット出願の入力方法については入試情報サイト「インターネット出願登録」にある「インターネット出願マニュアル」で操作方法を解説しています（A4用紙30枚程）。必要な場合はダウンロードしてください。

2. インターネット出願の画面操作に関するお問い合わせ

志願受付操作サポート窓口

TEL：0120-752-257

お問い合わせ受付期間：インターネット出願期間のみ利用できます。

毎日：9時00分～20時00分

- * 公衆電話からは利用できません。
- * ご意見・お問い合わせ内容等の正確な把握等のために、通話を録音させていただきます。

■ 小論文の内容・キーワード

前期日程

学 部	内 容	キーワード
商学部	シェアリングサービスが拡大しています。それは消費者の価値観が従来の「所有（Ownership）」から「利用（Access）」へと変化したことが大きな要因です。サービスの分野は、レンタルサービスやフリマアプリなどのモノや民泊、貸会議室などの空間に始まり、現在はカーシェア、自転車シェアなどの移動、家事代行、オンライン講師などのスキル、クラウドファンディングなどのお金の分野まで拡大しています。 消費者の価値観の変化には大きく 2 つの要因があります。1 つは経済が低迷する中、費用や場所など所有が必要なもののみに絞る必要や要望が広まったこと、もう一つは使用後の廃棄を減らしたいといった環境に対する意識が高まったことです。それを後押ししたのがシェアを容易化する IT 技術の進展です。特にスマートフォンの普及やいつでもつながるインターネット網の拡大強靱化、小口で安全なインターネット決済の普及といったものが、シェアリングサービス拡大の大きな契機となりました。 しかしながら、さらなる拡大には政府・企業・個人それぞれが変えなければならないいくつかの課題があります。限られた資源の中でより多くの人が持続的に豊かさを共有するために、どうすべきか、それぞれが考えていくべきことと言えるでしょう。	シェアリングサービス、DX、所有から利用へ、環境問題、IT 技術
経営学部	日本の中小企業において、事業承継は重要な経営課題となっています。中小企業庁『2025 年版中小企業白書』によれば、中小企業の後継者不在率は全体として減少傾向にあるものの、中小企業の経営者年齢は依然として高く、60 歳以上の経営者が過半数を占めています。また、個人企業では法人企業に比べて「現在の事業を継続するつもりはない」と回答する割合が高く、約 4 割の企業が自らの代での廃業を考えていることが示されています（中小企業庁、2025）。 事業承継は、単に経営者の地位を次の世代に引き継ぐことではありません。中小企業は、地域における雇用を支えるだけでなく、長年培ってきた技術、技能、取引関係、顧客からの信頼、地域文化などを維持する役割を担っています。そのため、後継者が見つからず廃業に至った場合、個々の企業だけでなく、地域経済全体にも影響を及ぼす可能性があります。 中小企業庁『2024 年版中小企業白書』でも、中小企業・小規模事業者は、雇用の担い手であるとともに、多様な技術や技能を支える存在であり、円滑な事業承継によって事業価値を次世代に引き継ぐことが重要であるとされています（中小企業庁、2024）。 さらに、事業承継には親族内承継だけでなく、従業員承継、第三者承継、M&A などの方法もあります。中小企業庁は、全国 47 都道府県に設置された「事業承継・引継ぎ支援センター」において、事業承継に関する相談対応、事業承継計画の策定、M&A のマッチング支援などを原則無料で実施しています（中小企業庁、2026 年）。 《参照》 中小企業庁（2024）『2024 年版 中小企業白書』第 1 部第 3 章第 6 節「事業承継」。 https://www.chusho.meti.go.jp/pamflet/hakusyo/2024/chusho/b1_3_6.html 中小企業庁（2025）『2025 年版 中小企業白書』第 1 部第 1 章第 9 節「事業承継」。 https://www.chusho.meti.go.jp/pamflet/hakusyo/2025/chusho/b1_1_9.html 中小企業庁「事業承継の支援策」。 https://www.chusho.meti.go.jp/zaimu/shoukei/business_succession_support_measures.html	中小企業、事業承継、後継者不足、経営者の高齢化、廃業、親族内承継、従業員承継、第三者承継、M&A、地域経済、雇用の維持、技術・技能の継承、事業価値の継承

前期日程

学 部	内 容	キーワード
経済学部	経済学は、理論・政策・歴史の3つの面から捉えることができます。 経済理論は、ミクロ経済学とマクロ経済学から成っています。ミクロ経済学の中核は、市場における需要と供給の作用によって価格と生産量が決定される価格メカニズムにあり、社会的余剰を最大化することで資源の最適配分を達成します。マクロ経済学は、国民所得論とも言われ、総需要を構成する消費、投資、政府支出、租税、純輸出によって、国民所得が決定されます。その際、限界消費性向が鍵となり、総需要の構成要素の増減による乗数効果が期待されます。 経済政策は、財政政策と金融政策が主流です。いずれも、マクロ経済学をベースにしています。財政政策では、好不況に応じて、政府支出の増減、増減税を通じて、景気安定を図ります。金融政策では、やはり好不況に応じて、貨幣供給量（マネーサプライ）を調整することで景気対策を行います。 経済学の歴史では、ある時代と経済学者との関連が重要です。特に、産業革命期のアダム・スミスと世界恐慌期のジョン・メイナード・ケインズがよく知られています。スミスは、ピン製造を例にして、分業による生産性の向上を説き、増加した生産物が労働者階級にまで広く分配される資本主義の経済システムを明らかにしました。ケインズは、世界恐慌の時期に、政府が公共事業を中心とした財政政策を行うことで需要を創り出し、景気回復を目指す指針を提示しました。 このように、経済学は理論・政策・歴史という観点から経済社会の安定と成長を目指します。	ミクロ経済学、マクロ経済学、財政政策、金融政策、産業革命、世界恐慌、アダム・スミス、ケインズ
法学部	単純で繰り返し同じことをする労働が、オートメーション化されることによって、人々はそのような労働から解放されていったことは歴史が示しています。またこのような機械化によって、廉価で品物を提供できるようになり、機械化に投資可能なところに、富が集中するようになっていきました。その反面、人々は、手作業や単純労働が苦手になってしまう傾向が見られます。また、丁寧な手作業を必要とした作業に機械がとってかわり、人よりも正確に行うようになりました。器用さが求められる作業は次第に限られていくようになってきました。世界中で、資本さえあれば、どの国でも同じような作業ができるようになっていき、勤勉性、器用さなどの国民性が産業に反映しない傾向が伺えます。 現在では、文章化や、人の行動や考え方に関するアドバイスまで可能な生成 AI、チャット GPT などが出現しました。自ら考えなくても代わりに答えを作ってくれる状況が社会で生まれつつあります。	生成 AI、チャット GPT、産業の発展、人間性、思考力、時間、訓練、思考の平等性、勤勉性、学習、努力
外国語学部	母国語である日本語の言語習慣が外国語としての英語力にも関連するという調査報告が発表されたことがあります。人と話すこと、新聞や書物を読むこと、日記などを書くことなど、日本語を使う機会の多い人ほど英語能力も高くなる傾向があることが示唆されました。この調査は日本語と英語の関係として行われましたが、より広く母国語と外国語の関係として見ても良いでしょう。豊かな母国語使用が外国語能力にもプラスになるのではないかと、逆に考えると、母国語で人とあまり話さない人が外国語では流ちょうに話せたり、母国語で読書もしない人が、外国語ではさまざまなものをスムーズに読めたりするとは考えにくいでしょう。	母国語での言語習慣、英語力
国際学部	近年中東で続く政情不安や局地的な衝突による情勢の緊迫化は、私たちの日常生活に大きな影響を与えています。日本は化石燃料のほとんどを海外から輸入しており、中でも原油については、9割以上を中東地域からの輸入に頼っています。そのため、この地域からの輸入が減少すると、日本国内の灯油・ガソリンの価格上昇をもたらします。さらに、石油に由来するさまざまな製品の生産が困難になったり不足したりして、最終的には物価の上昇へとつながります。このように、中東情勢の緊迫化は、わが国の経済活動だけでなく、私たち消費者の生活にも大きな打撃を与えます。 エネルギーの大半を海外からの輸入に頼る日本は、これまでも同様の経験をしてきました。1970年代には、中東の紛争の影響で国際的に石油価格が高騰し、わが国は2度のオイルショックを経験しました。トイレットペーパーの買いだめなど、消費者がパニックに陥ったこともありました。その一方で、オイルショックは、わが国の企業や消費者の脱石油化や省エネに向けた取り組み、石油代替製品の誕生などにもつながりました。 このように、中東情勢の緊迫化がもたらす物価上昇は、社会経済状況にマイナスをもたらす一面がある一方、地球環境に配慮した企業活動にもつながり、私たちの行動や考え方を見直す機会となる一面もあるのです。利便性の追求と、地球環境への配慮や行き過ぎた経済活動の見直しは、決して相反するものではありません。	中東、政情不安、情勢の緊迫化、石油、物価上昇、エネルギー、オイルショック、企業、消費者、脱石油化、省エネ、石油代替製品、地球環境への配慮、利便性、経済活動

前期日程

学 部	内 容	キーワード
情報学部	政府（内閣府）は、我が国が目指すべき未来社会の姿として Society 5.0 を提唱しています。現在は Society 4.0 と呼ばれる情報社会にありますが、社会全体における情報共有はまだ十分とは言えません。Society 5.0 で実現される社会では、すべての人とモノがつながり、多様な知識や情報が共有されるようになります。さらに、人工知能（AI）を活用したロボットや自動走行車などの技術により、少子高齢化、地方の過疎化、貧富の格差といった社会課題の克服が期待されています。加えて、XR（eXtended Reality）技術によって、仮想空間（デジタル）と現実世界（リアル）が融合し、人やモノ、情報が相互に作用することで、社会・福祉の充実やエンターテインメント分野への応用も考えられます。これらのイノベーションを通じて、希望の持てる社会の構築が期待されています。 《参照》https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/h30/html/nd102300.html	Society5.0, IoT (Internet of Things), AI, 自動運転, XR (eXtended Reality)

後期日程

学 部	内 容	キーワード
商学部	物流の 2024 年問題は業界を震撼させました。それは長年、ドライバーの長時間・低賃金労働に支えられた構図を一変させるものだったからです。特にコロナ禍以降、一般の消費者向けの小口配送が激増し、物流業務は増加の一途でした。特に日本は、早く・時間通りに届けられること(ジャストインタイム)は当然であり、その上で安く、より多くの付帯サービスを提供することが受注獲得の源泉となっていたからです。それらを支えていたのは、大手企業から中小企業・個人事業主といった業界の多段階構造であり、長時間・低賃金労働を強いる原因でありました。 大手企業は様々な改革を施しました。東京-大阪間などの長距離運転は HUB を設置することで中距離輸送のリレー形式に変更、連続運転時間の短縮を図ったり、デジタルデータで商品管理を行うことで、ミスを防ぎつつ商品の追跡調査を可能にしたりしました。それでもコスト増・時間増は避けられませんでした。中小企業はそのような対策をとることも困難でした。まして個人事業主然りです。結果離職者が増加し、物流価格は上昇しました。法改定の目的の達成は、道半ばというのが現状です。 これらの解決には、業界の構造改革とともに、消費者の意識改革が求められています。物流業界の持続可能性への変革には、社会全体の変革が必要です。	物流の 2024 年問題, 小口配送, ジャストインタイム, 多段階構造, DX, 環境, 持続可能性
経営学部	近年、企業には、利益の追求だけでなく、環境問題、人権、労働環境、地域社会への貢献など、持続可能な社会の実現に向けた取り組みが求められています。SDGs への関心の高まりもあり、企業がどのような社会的課題に取り組み、それを経営にどのように結びつけているかを説明することの重要性が増しています。 日本では、金融庁により有価証券報告書等において「サステナビリティに関する考え方及び取組」の記載欄が新設され、2023 年 3 月期決算企業から適用されています。また、有価証券報告書等の「従業員の状況」において、女性管理職比率、男性の育児休業取得率、男女間賃金格差など、多様性に関する指標の開示も求められるようになっていきます（金融庁、2023）。 さらに、国際的には、IFRS 財団の国際サステナビリティ基準審議会、いわゆる ISSB が、IFRS S1「サステナビリティ関連財務情報の開示に関する全般的要求事項」と IFRS S2「気候関連開示」を公表しています。ISSB 基準は、投資家の意思決定に有用で比較可能なサステナビリティ関連情報を提供することを目的としています（IFRS Foundation、2023）。 日本でも、サステナビリティ基準委員会（SSBJ）により、2025 年に「サステナビリティ開示基準の適用」、「一般開示基準」、「気候関連開示基準」が公表されています（サステナビリティ基準委員会（SSBJ）、2025）。 これらの動きは、サステナビリティ情報の開示が、任意の社会貢献活動の紹介にとどまらず、企業経営や資本市場に関わる重要な情報開示になりつつあることを示しています。 《参照》 金融庁（2023）「サステナビリティ情報の開示に関する情報」。 https://www.fsa.go.jp/policy/kaiji/sustainability-kaiji.html IFRS Foundation（2023）“Introduction to the ISSB and IFRS Sustainability Disclosure Standards”。 https://www.ifrs.org/sustainability/knowledge-hub/introduction-to-issb-and-ifrs-sustainability-disclosure-standards/ サステナビリティ基準委員会（SSBJ）（2025）「サステナビリティ開示基準」。 https://www.ssb-j.jp/jp/ssbj_standards.html	SDGs, サステナビリティ, ESG, サステナビリティ情報開示, 有価証券報告書, 企業価値, 投資家, 利害関係者, 説明責任, 気候変動, 人的資本, 多様性, ガバナンス, リスク管理, 指標と目標, 社会的信頼

後期日程

学 部	内 容	キーワード
経済学部	経済学は、理論・政策・歴史の3つの面から捉えることができます。 経済理論は、ミクロ経済学とマクロ経済学から成っています。ミクロ経済学の中核は、市場における需要と供給の作用によって価格と生産量が決定される価格メカニズムにあり、社会的余剰を最大化することで資源の最適配分を達成します。マクロ経済学は、国民所得論とも言われ、総需要を構成する消費、投資、政府支出、租税、純輸出によって、国民所得が決定されます。その際、限界消費性向が鍵となり、総需要の構成要素の増減による乗数効果が期待されます。 経済政策は、財政政策と金融政策が主流です。いずれも、マクロ経済学をベースにしています。財政政策では、好不況に応じて、政府支出の増減、増減税を通じて、景気安定を図ります。金融政策では、やはり好不況に応じて、貨幣供給量（マネーサプライ）を調整することで景気対策を行います。 経済学の歴史では、ある時代と経済学者との関連が重要です。特に、産業革命期のアダム・スミスと世界恐慌期のジョン・メイナード・ケインズがよく知られています。スミスは、ピン製造を例にして、分業による生産性の向上を説き、増加した生産物が労働者階級にまで広く分配される資本主義の経済システムを明らかにしました。ケインズは、世界恐慌の時期に、政府が公共事業を中心とした財政政策を行うことで需要を創り出し、景気回復を目指す指針を提示しました。 このように、経済学は理論・政策・歴史という観点から経済社会の安定と成長を目指します。	ミクロ経済学、マクロ経済学、財政政策、金融政策、産業革命、世界恐慌、アダム・スミス、ケインズ
法学部	単純で繰り返し同じことをする労働が、オートメーション化されることによって、人々はそのような労働から解放されていったことは歴史が示しています。またこのような機械化によって、廉価で品物を提供できるようになり、機械化に投資可能なところに、富が集中するようになっていきました。その反面、人々は、手作業や単純労働が苦手になってしまう傾向が見られます。また、丁寧な手作業を必要とした作業に機械がとってかわり、人よりも正確に行うようになりました。器用さが求められる作業は次第に限られていくようになってきました。世界中で、資本さえあれば、どの国でも同じような作業ができるようになっていき、勤勉性、器用さなどの国民性が産業に反映しない傾向が伺えます。 現在では、文章化や、人の行動や考え方に関するアドバイスまで可能な生成 AI、チャット GPT などが出現しました。自ら考えなくても代わりに答えを作ってくれる状況が社会で生まれつつあります。	生成 AI、チャット GPT、産業の発展、人間性、思考力、時間、訓練、思考の平等性、勤勉性、学習、努力
外国語学部	英語学習時間と英語能力試験の結果との関連について面白い報告がなされたことがあります。毎日 30 分英語を自己学習すれば 3 か月でかなり得点が上昇し、1 時間学習すればその倍くらい得点が上昇するといったケースは比較的良好に知られています。それがわかっているにもかかわらず、してくれないというのが学習者と教育者の悩みでしょう。それはさておき、面白いのは、能力試験の得点が上限に近づくにつれて、学習時間が逆に減っていくという調査結果がでたことです。一見不思議に思われるかもしれませんが、実はごく自然なことで、得点上位者は徐々に英語を勉強として学習する方向から、英語を生活の一部にしていく方向に変わっていくのです。日本にいても、仕事で使う場合はもちろん、英語で会話やメールをし、字幕なしで洋画を見たり、英語の小説などを自分の楽しみとして読んだり、インターネットで英語で検索し、英語ニュース放送で情報を得たりする。このように英語があまり勉強でなくなるレベルに至るまでの道はかなり遠いかもしれませんが、そうしてこそ英語の幅広い恩恵を受け、深く楽しむことができると言えるのではないのでしょうか。	英語学習時間、英語能力試験

後期日程

学 部	内 容	キーワード
国際学部	私たちは日々、大量のプラスチック製品を消費し、ごみとして排出しています。プラスチックは軽くて丈夫であり、また加工もしやすいため、大変利便性が高く、飲食物の包装や容器をはじめ、さまざまな日常生活用品や産業製品に広範に利用されています。一方で、プラスチックはさびたり生分解したりせず、半恒久的に自然界に残存し、一部はプラスチックごみとなって海洋に放出されます。 海洋に放出されたプラスチックごみは、海流に乗ってはるか遠くの国の海岸線にたどり着きます。例えば、日本などアジア地域で発生したプラスチックごみが、遠く太平洋の島国の海岸線まで到達するとの研究もあります。また、プラスチックごみをえさと間違えて体内に取り込んでしまう海洋生物もあとを絶ちません。このように、私たちの日常生活を支えるプラスチックは、国境を越えて海洋汚染をもたらしたり、生物多様性へ深刻な影響を与えたりすることもあります。私たちの日常生活の利便性の裏には、地球規模の環境問題があるのです。 そこで現在、世界的なプラスチックの利用や規制のあり方をめぐって、国際的な議論が進められています。私たちは、先進国・途上国の区別なく、連帯してこのような地球規模の問題に取り組んでいく必要があります。また同時に、私たち自身も、地球環境問題に対してどのように向き合っていくことができるか、考えていくことが求められます。	プラスチック, 利便性, プラスチックごみ, 日本, 太平洋の島国, 越境する問題, 海洋汚染, 生物多様性, 先進国, 途上国, 地球環境問題, プラスチック規制, 国際的議論
情報学部	我々にとってスマートフォン端末は社会に欠かせない存在であり、日常生活から業務利用に至るまで、幅広いアプリケーションが提供されています。これらの多くは第5世代移動通信システム「5G」技術に基づいていますが、その適用対象は人間が使用する端末にとどまらず、今後は自動車、ドローン、工場内の機械などへの展開が想定されています。5G技術の特徴としては、超多数端末接続、超低遅延・高速通信、高速大容量通信、省電力・狭帯域IoT、タイミング保証通信などが挙げられ、一般的なスマートフォン向け通信の枠を超えた技術です。さらに、機器の近傍でデータ処理を行うことで、ネットワーク遅延を一層低減し、リアルタイム制御が可能になります。これらの技術により、新たな社会の実現が期待されています。	5G モバイル, スマートフォン, IoT (Internet of Things), 自動運転, リアルタイム制御

■ よくある質問

Q1. 出願登録したのですが、入学検定料を納付するのを忘れていました。

A1. 入学検定料の納付は、インターネット出願で登録した日の翌日の23時59分（最終日は登録した当日の23時59分）までです。その時間を過ぎると支払いができなくなります。その場合は、出願期間内であれば再度登録し、入学検定料を納付してください。
ただし、出願期間を過ぎた場合は納付できません。

Q2. 出願登録し、入学検定料も納付したのですが、出願書類の郵送を忘れていました。

A2. 至急、郵便局の窓口から簡易書留・速達で郵送してください（出願最終日の消印有効）。出願期間を過ぎている場合は、入試広報課までご連絡ください。

Q3. 名前に旧漢字などを使えますか？

A3. 氏名等に使用できる漢字の表記はJIS第2水準（例：高→高，斎→齊，邊・邊→辺など）までです。
JIS第2水準にない場合は、別の表記に換えることがありますのでご了承ください。

Q4. 出願にはスマートフォンまたはタブレットは使えますか？

A4. 使用できます。ただし、志願票など郵送が必要な書類（6ページを参照）があります。スマートフォンまたはタブレットから登録した後、プリンターが繋がったパソコンから「マイページ」にログイン、「出願確認」から登録内容の確認後、印刷を行ってください。

Q5. パソコン（インターネット環境）がありません。

A5. 所属していた学校等で利用できないかご相談ください。それでも利用が難しい場合は、至急、入試広報課までご連絡ください。なお、出願期間であっても、対応できない場合があります。

Q6. 出願登録後に「志願票」と「宛名ラベル」の「印刷ページ」のボタンを押したのですが、何も表示されません。

A6. 利用しているブラウザによっては画面に表示されない場合があります。
画面の左下に「shigan.pdf」「atena.pdf」という表示が出ている場合は、表示をクリックすると画面に表示されます。また、画面の左下の表示がない場合はパソコンの「ダウンロード」ファイルに格納されています。画面にあるPCアイコンをクリックするか、エクスプローラを使って「ダウンロード」ファイルを開くと「shigan.pdf」と「atena.pdf」があります。
➤ 志願票 = shigan.pdf 宛名ラベル = atena.pdf
➤ 見つからない場合は、『「志願票」「宛名ラベル」が印刷できない場合』（9ページ）を参照してください。

Q7. 受験票をiPhoneにダウンロードしましたが、画面に何も表示されません。

A7. 画面下部にダウンロードボタンが表示されている場合、ボタンを押してダウンロードしてください。
ダウンロードした受験票は、Adobe Acrobat Readerで表示してください。Adobe Acrobat Readerをお持ちでない場合はApp Storeからダウンロード（無料）して設定してください。
iPhoneを使用している場合、ブラウザはSafariを利用ください。
モバイル環境から印刷ができない場合は、パソコン等を使用して必ず印刷してください。

■ 試験会場案内

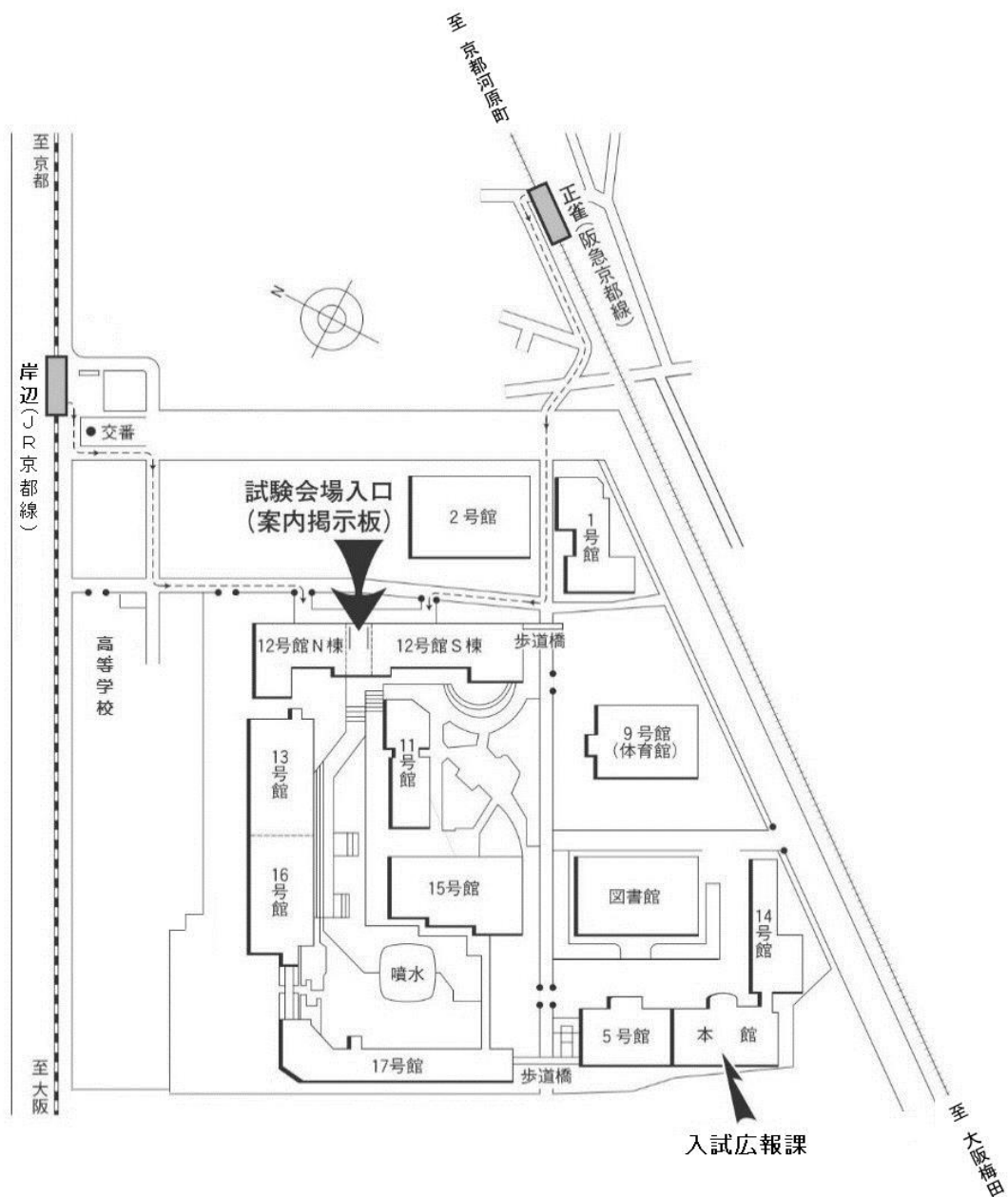
- * 受験票を確認し、間違いのないように来場してください。
- * 試験会場（大阪学院大学）の下見は可能ですが、教室に立ち入ることはできません。
- * 駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。
- * 学舎建設工事に伴う車両の出入りがある箇所については、係員の指示に従ってください。
- * 駐輪場は閉鎖していますので、公共交通機関をご利用ください。

試験会場（大阪学院大学）

大阪府吹田市岸部南二丁目36番1号

- * JR 京都線「岸辺」駅南口から徒歩5分
- * 阪急京都線「正雀」駅西口から徒歩5分

- 試験室の表示方法は次のとおりです。
(例) 13-03-08 ……13号館3階08教室



大阪学院大学 入試広報課

〒564-8511 大阪府吹田市岸部南二丁目36番1号 TEL: 06-6381-8434 (代表)